

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-11C	16-128	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名（原題／訳）		
ALDH2 polymorphism and alcohol-related cancers in Asians: a public health perspective. アジア人における 2 型アセトアルデヒド脱水素酵素（ALDH2）と飲酒関連の癌について： 公衆衛生の観点より		
執筆者		
Chang JS, Hsiao JR, Chen CH.		
掲載誌		
J Biomed Sci. 2017 Mar 3;24(1):19. doi: 10.1186/s12929-017-0327-y.		
キーワード		PMID
アルコール、2 型アセトアルデヒド脱水素酵素、癌、予防、公衆衛生		28253921
要 旨		
<p>飲酒に関連する癌の現状と、アジア人に多いアセトアルデヒド脱水素酵素の遺伝子多型との関連について、公衆衛生上の対策も含めて検討した。</p> <p>1990 年～2010 年の世界の飲酒による癌の死亡数は 243,000 人から 337,400 人まで増加した。2010 年の全癌死亡のうち、飲酒関連の癌による死亡割合は 4.2%であった。飲酒は、食道癌、頭頸部癌、肝臓癌、大腸癌と強い、乳癌と中等度の関連を示すことが種々の疫学研究結果より確立されたといえる。</p> <p>一方、ALDH2(2 型アセトアルデヒド脱水素酵素)遺伝子多型との関連については、東アジア人は ALDH2*2 アレルを持つ人の割合が多く、アルコールによる癌発症の影響を受け易い可能性がある。ALDH2*2 アレルと癌の関連についての報告は、食道癌と頭頸部癌の研究が多くを占めており、他の癌との関連についての報告は限られている。東アジア人は ALDH2*2 アレルが高頻度に存在するため、飲酒が関連した癌予防の公衆衛生上の観点から、有用と考えられる対策を以下に示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ALDH2 多型をスクリーニングし、アルコール関連癌の発症リスクが高い者を同定する 2) ALDH2 多型のスクリーニング情報を禁酒や節酒の行動介入プログラムに追加する 3) ALDH2 多型をアルコール関連癌の予後指標として用いる 4) 予防的化学療法の対象者選択のため ALDH2 多型の情報を用いる 5) ALDH2 欠損者を対象とした飲酒に関するガイドラインを作成する <p>今後、さらなる研究により、これらの戦略が飲酒関連癌の発生を予防できるかを評価すべきである。</p>		